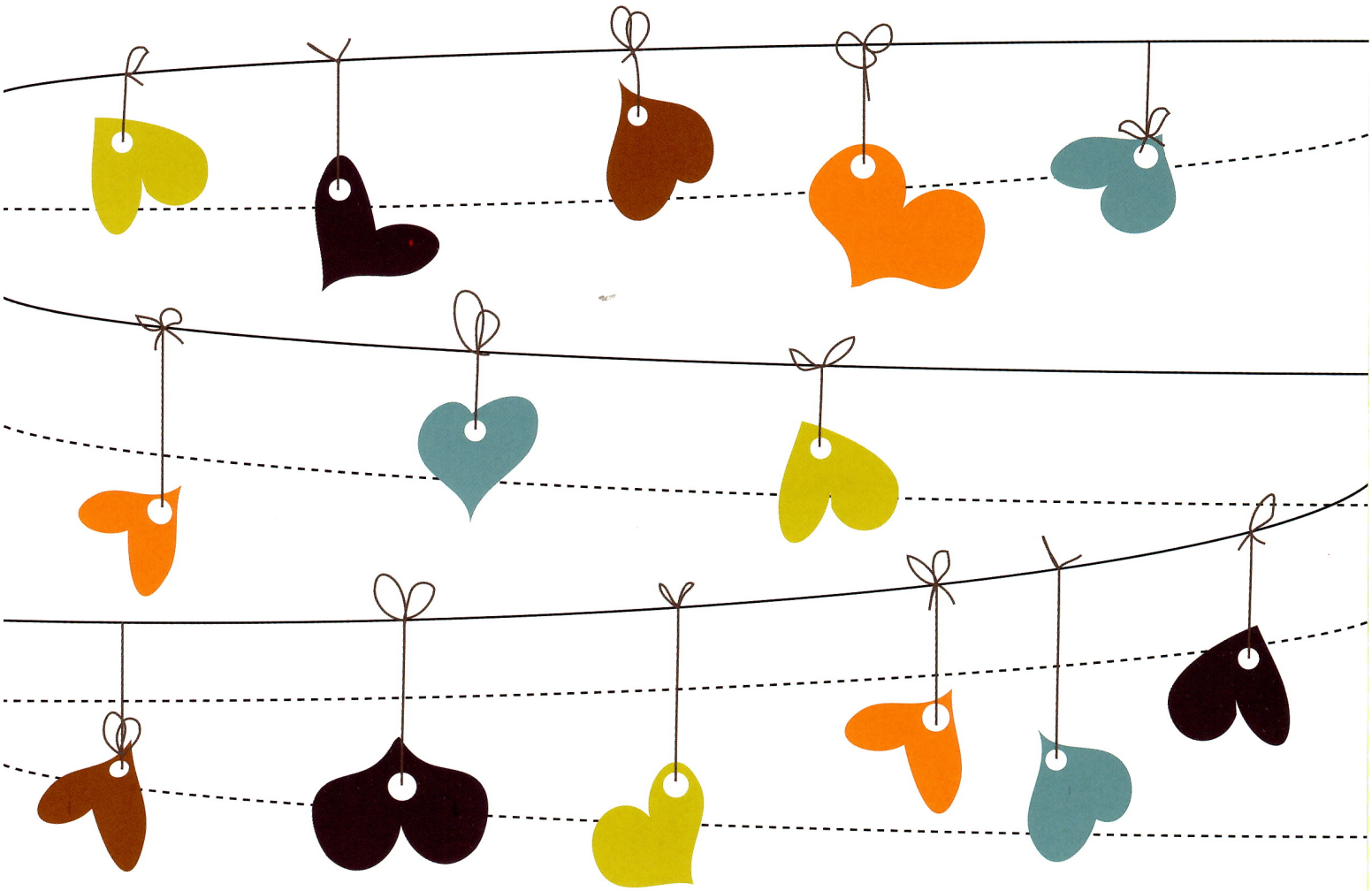
あざれあ便り

NO.37　TAKE FREE　ご自由にお持ち帰りください

特集　チーム医療

さまざまな医療スタッフが連携し、
お一人お一人の患者様をサポート



社会医療法人社団 高野会
くるめ病院

特集
チーム医療

今、医療の現場では様々な職種の医療職者が連携しながら1人の患者様の治療やケアに当たる「チーム医療」が注目されています。当院にも現在いくつかのチームがあり、入院中や外来通院中の患者様の生活の質（ＱＯＬ）の維持や向上を目指してサポートしています。今回はその中のいくつかをご紹介します。

排泄リハビリテーションセンター

排便に関する問題の治療は、「便の硬さ」「食生活」「腸の動き」「便を貯める量」「排便時のりきみ方」など様々な視点からの検討が重要で、多くの職種による連携が必要です。そのために、2009年より排泄リハビリテーションセンターとして、多くの職種が参加するチームを発足させました。

【構成メンバー】

医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、管理栄養士、薬剤師、事務職員で構成されています。

【活動内容】

講演会活動／地域住民に対する健康管理・人と健康の架け橋を目的とした依頼による健康講話を行っています。

啓発活動／福岡高齢者排泄改善委員会、ちくご高齢者排便障害研究会、日本コンチネンス協会など、排泄を専門とする団体と連携し、排泄に関する問題を再認識するためのきっかけを作っています。

院内活動／排便に関する問題を持つ人やその介護者に対する治療・ケアを円滑に提供するために毎月会議を開催しています。また、排泄に関する教育・育成を目的とした症例検討会を毎月行っています。

＜講演会活動＞

＜院内活動＞

【今後について】

- 排泄障害を持つ人やその介護者に対する治療・ケアの提供
- 排泄に関する知識・技術の普及
- 排泄に関する専門コメディカルの教育・育成
- 排泄に関する相談業務
- 排泄を専門とする各種団体との連携活動

上記の理念をもとに、院内での専門的な検査・治療・ケアの実施と、対外的学術的活動に重点を置いた活動を目指しています。

化学療法センター

【化学療法とは】

大腸がんとは大腸（盲腸、結腸、直腸、肛門）に発生するがんで日本では約26万人と他臓器がんと比べても非常に多いといわれ早期の場合はほとんどが無症状という特徴があります。大腸がんの治療法には手術治療、内視鏡的治療、化学療法（抗がん剤）があります。抗がん剤治療において最近では抗がん剤の開発進歩もあり日常生活を送りながら治療を受けたいという患者様が増えており、これに伴い入院治療だけでなく外来治療を選択される患者様が多くなっています。抗がん剤治療は内服薬のみや点滴、またそれを組み合わせた治療など様々であり患者様自身のライフスタイルに合った治療の選択が可能となってきています。

【構成メンバー】

医師、薬剤師、看護師をはじめ管理栄養士、事務職員などの多職種で構成されています。

【活動内容】

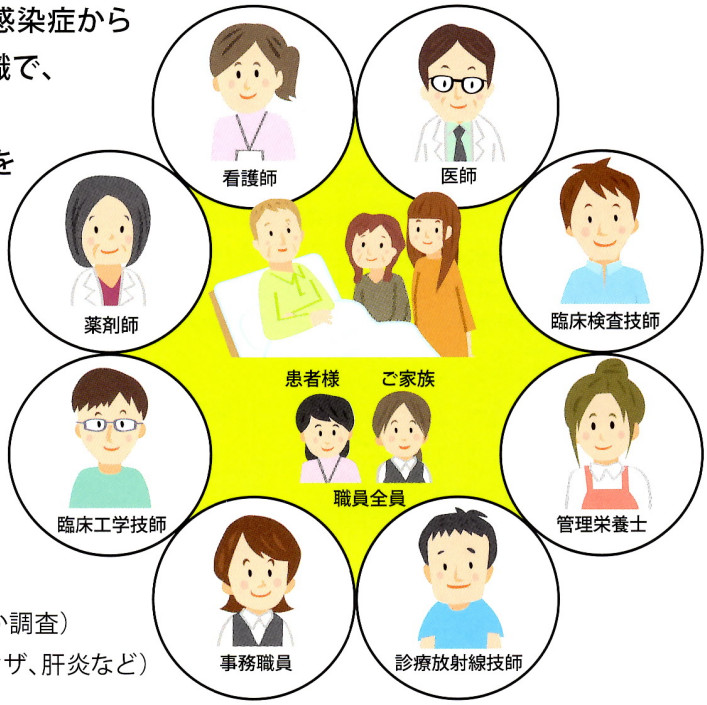
患者様の多くは大きな不安を抱え治療されています。私たち化学療法チームはがん化学療法認定看護師を中心に計3名の看護師で治療開始時より携わり、診察前問診や当日点滴の一連に関わり専任看護師が付くことで安心して治療を受けていただけるよう努めています。また、希望の患者様には後日電話訪問で副作用の確認なども行っています。毎週1回カンファレンスを行い患者様の情報交換、共有を行う事でのチーム医療を実践しています。

【今後について】

安全・安楽・安心をモットーに患者様が抗がん剤治療を受けながらも生活の質を維持できるよう心身共にサポートできればと思っております。今後も患者様に寄り添った看護を行い信頼関係を築いていけるよう努めていきます。

感染対策チーム（ＩＣＴ：Infection Control Team）

感染対策チームは、院内で起こり得るさまざまな感染症から患者様、ご家族、職員を守るために活動を行う組織で、予防（病院内で感染症を発生させないこと）、対策（発生した場合、拡がらないようにすること）を目的としています。



【構成メンバー】

病院長・感染管理医師・看護師・薬剤師等の多職種で構成されています。

【活動内容】

◎ 病院内の感染症の発生状況を調査・集計し、感染症の拡がり・予防に役立てる
◎ 菌の検出状況の調査と報告（危険な菌が増えていないか調査）
◎ 職員の健康管理 / 必要なワクチンの接種（インフルエンザ、肝炎など）
◎ 使用薬剤や抗菌薬の見直し
◎ 職員の教育 / 全体研修会の実施、環境ラウンドの実施、手指衛生指導と実施
◎ マニュアルの見直し

環境ラウンド時の風景

手指衛生指導の風景

病院職員への感染対策の啓発・指導は大変重要です。担当者にて環境ラウンドを実施し、環境清掃・手指衛生指導を実施しています。手指衛生に関して、手洗い・手指消毒剤使用の指導とチェック、蛍光塗料使用による指導と、視覚的に認識してもらうために、手形培養を実施・フィードバックし手指衛生の徹底に取り組んでいます。

【今後について】

感染対策は、一部のスタッフが理解・実施できても、継続できなければ意味がありません。職員への感染を防止すること・職員から患者様への感染を防止することが大切です。各自が意識を持ち実施継続できるよう、今後も活発な活動を行っていきます。

特集
チーム医療

栄養サポートチーム（NST:Nutririon Support Team）

NSTとは、様々な職種で患者様の栄養管理を行う医療形式のひとつです。

なぜＮＳＴが必要なのか？

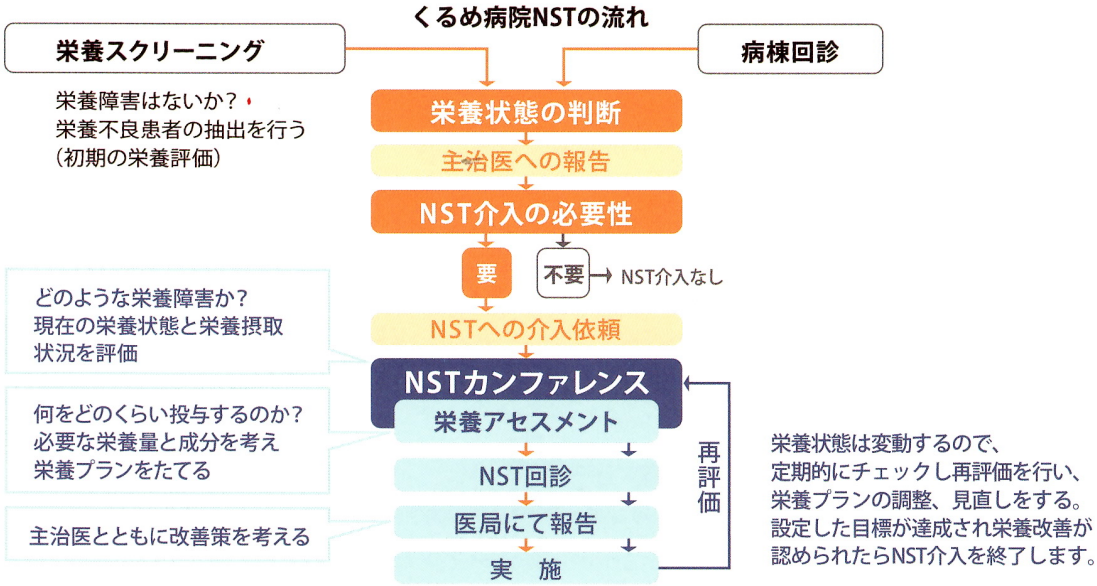
栄養が足りない低栄養状態が続くと、筋肉が減ることで体がやせ、免疫能が低下して抵抗力もおちてしまいます。そのような状態では、どのような治療やリハビリも効果を十分に発揮できません。そのため、栄養管理はすべての治療の基盤ともいわれ、必要な栄養をきちんと摂ることによってそれらの効果が発揮され回復につながります。一日も早い回復のお手伝いをして、患者様のサポートをするのがＮＳＴ活動の目的です。

対象は？

基本的に栄養管理を必要とするすべての患者様ですが、当院でのＮＳＴ介入対象者の多くを占めるのは、クローン病や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患の患者様と大腸癌等の開腹手術を受けた患者様になります。

【構成メンバー】

【活動内容】



「日本栄養療法推進協議会認定・NST稼働施設」「日本静脈経腸栄養学会認定・NST稼働施設」

第24回ちくご高齢者排便障害研究会報告

5月13日（土）ちくご高齢者排便障害研究会を開催致しました。この研究会は、高齢者のＱＯＬ向上と、看護や介護者の負担の軽減を図ることを目的として発足し、今回で２４回目を迎えました。当院の皮膚・排泄ケア認定看護師亀川とユニ・チャーム　メンリッケ㈱の高原ひとみ様を講師として招き、「排泄から考えるスキンケア」と「スキンケア～健康な皮膚を保つ、スキンケアを～」について講演と症例検討会を行いました。１７施設３８名にご参加頂き、活発な意見交換が行われました。参加者からは、「排便コントロールを薬や摘便等に頼らないような取り組みを始めたい」「最新情報が聞けてよかった」などの感想を頂きました。今後も久留米市や他の施設と連携を図りながら、当院の専門性を活かした地域活動を行っていきたいと思います。（事務局）

学会発表の報告

2017年4月～8月

開催日	学会名	開催地	発表者	演　題
2017. 5.11-13	第92回日本消化器内視鏡学会総会	大阪	小篠　洋之	キャンピロバクター腸炎の診断と治療
2017. 5.21	第71回九州消化器内視鏡技師研究会	久留米	武富　聖子	多職種への指導効果と今後の課題について
2017. 5.26-27	第54回九州外科学会	熊本	石見　雅人	直腸癌術後肝転移に対して化学療法が著効した1例
2017. 6.2-3	第15回日本ヘルニア学会学術集会	東京	野明　俊裕	TAPP導入後6年の再発要因
			石見　拓人	傍ストーマヘルニアに対する治療戦略
2017. 6.10	第27回骨盤外科機能温存研究会	東京	野明　俊裕	直腸脱に合併した骨盤臓器脱(POP)の診断と治療
			石見　雅人	骨盤臓器脱(Pelvic Organ Prolapse)の検査と診断
2017. 7.20-22	第72回日本消化器外科学会総会	金沢	的野　敬子	局所進行直腸癌に対する術前化学療法の検討
2017. 8.5	第10回西日本直腸肛門疾患懇談会	福岡	家守　雅大	私の結紮切除術

担当医一覧

2017年9月現在

○午前　◎午前9:00～午後4:00

		担当医	月	火	水	木	金	土	日
一般外来（午前）	※午後は、手術・全大腸内視鏡（カメラ）検査、または外来担当医（連日交替）による診療	荒木　靖三	○	○	○	○	ー	○	担当医より1名
		野明　俊裕	ー	○	○	○	○	○	
		小篠　洋之	○	○	ー	○	○	○	
		的野　敬子	○	○	○	ー	○	○	
		家守　雅大	○	ー	○	○	○	ー	
		石見　雅人	ー	○	○	○	○	○	
		石見　拓人	○	○	○	ー	○	○	
		松本　朝子	○	○	○	○	ー	○	
専門外来	・便秘外来・便失禁外来・ヘルニア外来 ・ストーマ外来(皮膚排泄ケア認定看護師)	荒木　靖三	○	○	○	○	ー	○	ー
	・IBD外来（予約制）	荒木　靖三	ー	○	ー	ー	ー	○	ー
		光山　慶一（久留米大学）	ー	○	ー	ー	ー	○	ー
	・女性外来(完全予約制)	入江　朋子	ー	ー	ー	ー	◎	ー	ー

※ 専門外来は、毎日行っておりますが検査の都合上、午前中の来院をおすすめします。（土曜午後、日曜を除く）
※ 診察は24時間体制で対応いたしますので、お電話でご確認のうえ、来院されてください。

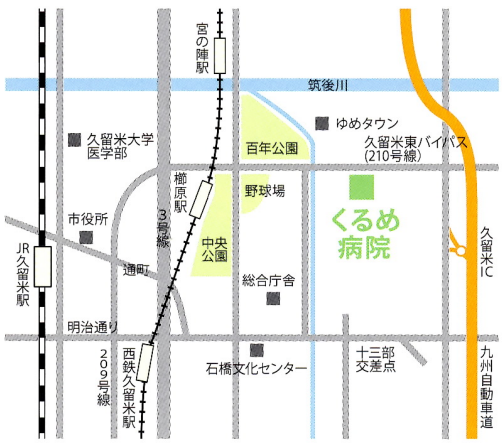
社会医療法人社団高野会 **くるめ病院**

診察科目 / 肛門科・胃腸科

診察受付時間			受付時間	診察開始時間
	平　日	午前の部	午前 8:00 ～ 午前 11:30	午前 8:45～
		午後の部	午後 1:00 ～ 午後　4:30	午後 2:00～
	土曜日	午前中のみ	午前 8:00 ～ 午前 11:30	午前 8:45～
	日曜日	午前中のみ	午前 8:30 ～ 午前 11:30	午前 9:00～

あざれあ便り企画・発行
社会医療法人社団高野会　くるめ病院　地域医療連携課
〒839-0865 久留米市新合川二丁目2-18
TEL (0942)43-5757　FAX (0942)43-6959　E-mail : ch-kurume@nifty.com

専門病院としてのさまざまな医療情報を満載したホームページを開設しています。
http://www.uproad.ne.jp./kurume/



Smile (スマイル / 笑顔)　Service (サービス / 奉仕の心)　Study (スタディ / 自己研鑽)　Speciality (スペシャリティ / 専門性)　Safety (セーフティ / 安全)